

Q & A

Q インターン受入経験が無いので、どんなインターン内容をしりたいのか分からない

A 企業の現状や今後の展望、社内の受入体制などを含めて事前にコーディネーターと密に話し合っプロジェクト設計をします。会社にどんな仕組みが必要なのか、どれから手をつければいいのか分からなかった、じっくり考えるいい機会になりました。また、スタートしてから注意したことは、学生のレベルに合った課題設定やアドバイスのタイミング。時にはとにかく褒めてあげることも大事だと思います。

AIR GROUND
畠中 裕介 代表のコメント



Q 中小企業に大学生が来るの？

A 長期実践型インターンを希望する学生は、企業の規模や知名度はあまり重視していません。経営者の想いや、取り組むテーマやどんな経験ができるかをともに選ぶので、学生にとって共感できて挑戦したいと思えるワクワクするプロジェクト設計が肝です。逆に、中小企業だからこそ、経営者のもので働けるなど、やりがいのあるフィールドであるとも言えます。

株式会社 栄水化学
松本 久晃 社長のコメント



Q すぐに辞めたりしないの？

A ミスマッチを防ぐためにも、参加動機や学生の興味関心を踏まえて事前に面接をします。開始後も、社内の受入担当者とともに、担当コーディネーターが目的目標や進捗状況の確認、学生の悩み相談などサポートをおこないます。また、時には他の受入企業が自社以外のインターン生にアドバイスをしたりすることも、尼崎らしいサポートの形だと思えます。

一般社団法人 女性の未来
長村 和美 代表のコメント



Q 業界知識や経験のない学生が、活躍できるの？

A 学生の力を活かすためには、若者の力を引き出す働きかけが企業側に必要です。つかず離れず伴走するイメージで、同じ方向を見て同じ目標に取り組みながら、時には任せ、叱り、失敗させ、認めてあげる。そうすると、やる気のある学生にさらにスイッチが入り、思いもよらない成果を成し遂げます。企業にとっても、人を育てる力が鍛えられる経験になると思えます。

株式会社 栄水化学
松本 久晃 社長のコメント



実施の流れ

○ 事前準備

● プロジェクト設計

受入企業とコーディネート機関で、企業にとって本気で試してみたいこと、学生にとっても共感してワクワクしてチャレンジしたいと思えることを明らかにして、プロジェクトの目標・内容を設計。

● 学生募集・マッチング

設計したプロジェクトをもとに、コーディネート機関が、学生向けの募集要項を作成しWeb上で公開。その他、学生向けセミナー等にて参加学生を募集。

学生とコーディネート機関の間で個別面談をし、プロジェクトの説明や、学生の意向確認・すり合わせを実施。

その後、企業との面接にて、最終的な合否を決定。

● 受入準備

インターン開始にあたって、社内体制の契約書類作成、保険加入等の手続きを実施。

○ インターン実施

● 個別面談・合同研修

プロジェクトの進め方、学生との接し方など生まれてくること疑問に対して、コーディネート機関も個別に面談や研修実施でフォロー。

また、特に尼崎でのインターンは、受入企業同士の横のつながりが特徴的。受入企業同士で事例・ノウハウを共有できる合同研修も実施。

○ 修了・振り返り

● 振り返り

学生・企業・コーディネート機関の三者でインターンの振り返りを実施。

さらに、他の企業とともに、合同修了報告会をおこなうことで、各社の学び気づきや成果を全体で共有。



AMAGASAKI CITY
INTERNSHIP 2017

尼崎市長期実践型
インターンシップ活用ガイド

企業の新 たな挑 戦

本気の大学生と
ともに仕掛ける

